

いつまでも幸せに暮らせるまちづくり

■ほろしん温泉町民優待券事業

【拡充】 1,597 千円

これまで実施してきた優待事業をボリュームアップし、町民の健康と満足度の向上に努めます。

《事業概要》

町民 1 人当たり、優待券 10 枚配布（従前 1 世帯 4 枚）

■新型コロナウイルス感染症対策

29,886 千円

新型コロナウイルス感染症対策として、ワクチンの接種に向けた体制の確保及び接種に係る費用を計上するとともに、感染者の濃厚接触者等のための自主隔離施設を設け、町民の不安の軽減と地域における感染拡大を最小限にするための対策を講じます。

■高齢者住宅等周辺整備事業

【実施設計】 34,672 千円

沼田町農村型コンパクトエコタウン構想では、石狩沼田駅を中心にほぼ半径 500 m の範囲内で歩いて暮らせるまちづくりを進めることとしており、その範囲内に位置する「暮らしの安心センター」周辺に、冬期間の除雪などに不安なく、安心して生活することができる「高齢者住宅」を新築するための実施設計を行います。

■禁煙外来費用助成事業【継続】

200 千円

喫煙はがんをはじめ、脳卒中や虚血性心疾患などの循環器疾患、慢性閉塞性肺疾患などの呼吸器疾患、歯周病など多くの病気と関係しており、予防できる最大の死亡原因とされていることから、喫煙のリスクを認識し禁煙に取り組む方に助成を行い、疾病の予防、健康意識の向上を図ります。

■沼田町出産祝金事業【新規】

600 千円

沼田町で出生した子どもを養育する父又は母に出産祝を支給し、町の次代を担う子どもの成長を支援するとともに、家族の経済的負担の軽減を図ります。



にぎわいのあるまちづくり〔商工業の振興〕

■行政ポイント事業【新規】 3,335 千円

新型コロナウイルス感染症対策としてキャッシュレス化など様々なかたちで非接触型への取り組みが進められている中、現在商工会で取り組んでいるポイントカード事業についても、非接触型への新しいシステムに移行し、これに合わせて、町の各種事業への参加に対しても広くポイントを付与する「行政ポイント」に取り組めます。

■歩いて健康・食べて発見・巡ってにぎわい創出事業【拡充】 4,738 千円

「健康・食・交流」をテーマに商業拠点施設である「まちなかほっとタウン」と医療・健康の拠点施設である「暮らしの安心センター」をメイン会場に町内各施設を巡る「にぎわいイベント」を開催し、まち全体に新たな人の流れを生み、にぎわいや潤い、活力を創出し地域内外の交流人口の増加を図ります。

令和3年度予算

主要事業

①

にぎわいのあるまちづくり〔農業の振興〕

■ めまたアグリファーム運営事業【新規】 12,932 千円

新規就農の促進に向け、関係機関が連携し研修から就農までを一貫支援する組織を設立し、新規就農の受け皿体制を強化します。

■ 良品質米栽培助成事業（JA 北いぶきとの連携事業）【新規】 1,500 千円

良食味米生産、耐病性、耐倒伏性の向上、不稔発生の軽減を目的として、幼穂形成期にケイ酸の追肥に対する助成を行います。

《事業概要》

下記のいずれか低い金額の 40%（+ JA40%）を助成します。

- ①ケイ酸資材購入費用
- ②実施面積に算出単価を用いて算出した金額

■ 高収益作物（ミニトマト） 作付実証試験（担い手育成事業） 【新規】 281 千円

新規就農者の受入体制の充実を図るために、めまたアグリファームと連携し、高収益作物（ミニトマト）の試験栽培を行います。



■ 首都圏アンテナショップ設置事業 【新規】 5,600 千円

首都圏に沼田町の特産物を販売するアンテナショップを設置し、大都市圏での地域ブランドのPRと販路拡大を図ります。（対面販売からスタートし、ネット販売への誘導を図るとともに、ふるさと納税のPRにもつなげます。）

■ 令和版沼田町食料貯蔵流通基地構想 策定事業【新規】 3,300 千円

食料安全保障の確立が改めて求められている中、本町の進める「沼田町食料貯蔵流通基地構想」の重要性は益々高まっていると考えられることから、現代の情勢に即した新たな構想の策定に着手します。

にぎわいのあるまちづくり〔企業誘致の推進〕

■ サテライトオフィス設置促進事業【新規】 740 千円

新たな誘致活動の方策として「働き方改革」の流れの中、自然豊かな環境でリフレッシュしながら仕事を行う等の目的で、本社から離れた場所にオフィスを構えるサテライト（衛星）オフィスが注目されていることから既存町内施設への「サテライトオフィス」設立誘致に取り組み、多様な働き方の提供と将来の企業進出による交流人口・関係人口の拡大により地域の活性化を目指します。

にぎわいのあるまちづくり〔観光の振興〕

■北海道日本ハムファイターズ応援大使事業【新規】 1,650 千円

2013 年度からスタートした「北海道 179 市町村応援大使」に本町が選定されたことを受け、「元気な沼田町を全国に発信する」ため、球団・応援大使とともに様々な事業を展開していきます。

応援大使：14 加藤投手、20 上原投手

■沼田町まるごと自然体験プロジェクト事業【新規】 28,572 千円

幌新地区の温泉・ほたるの里を含めた地域資源を活かして、地域ブランドの醸成と発信や町民の交流をコーディネートする組織「ノマド自然学校（仮）」を設立します。

自然学校では、自然体験事業を実施するほか、ノマドワーカーを定期的に招き、様々な学びや活動を行う場を構築するとともに関係人口・交流人口の増加を促進し、「地域の稼ぐ力」を発揮することで地域の活性化を図ります。



にぎわいのあるまちづくり〔移住定住の促進〕

■ぬまたライフサポート事業【新規】 7,854 千円

沼田町に住む小中高校生、またその世帯に対し沼田町ならではの支援策を講じることにより、沼田町への定住を図ります。

《事業概要》

- ・ 食べ盛り（小中高生）世代の子を持つ世帯に、新米 60Kg のお米を贈呈
- ・ 中高生時にぬまたで育ち、卒業後も沼田に住み続ける子を対象に、免許取得費用を全額助成

■孫ターン奨励事業【継続】 525 千円

孫（若い）世代に、祖父母が居住しており地域に溶け込みやすい本町への移住を促すことで、本町に縁のある孫世代移住の流れを作り出し高齢者の見守り充実と移住定住の促進を図ります。

希望を育むまちづくり

■ 沼田学園推進事業【継続】 9,322 千円

平成 25 年度から本格的な取組みをスタートさせた本町の「一貫・連携教育」ですが、この間、小中 9 年間を見通した系統表の作成、合同授業、合同運動会を始めとする各種交流活動等に取り組んできました。

この取組みを更に発展させ小・中・地域関係者が互いに連携し、教育の方向性を共有するとともに「沼田ならではの希望に満ちた豊かな学びの実現」を実効性のあるものとするため、平成 30 年度から小・中学校を合わせた「沼田学園」という新たな体制のもと運営を行っておりますが、令和元年度からは保護者や地域の皆さんからの意見・ニーズを学園の運営に反映し、より地域に開かれた学園づくりを目指した取組みを進めていきます。

■ 町営スキー場リフト更新工事【新規】

■ 町営スキー場ロッジ新築実施設計

地元の小中学生等を中心に多くの方々から親しまれ、冬期間のスポーツ振興・体力向上を図る場でもある高穂スキー場のリフト及びロッジが老朽化していることから、リフトの更新に伴う実施設計を含めた工事及びロッジを新築するための実施設計を行います。



安心安全に暮らせるまちづくり

■ 防犯カメラ設置事業【新規】

1,818 千円

児童・生徒の登下校時の安心・安全のため、通学路の一部に防犯カメラを設置します。

■ 避難所運営マニュアル作成【新規】

2,145 千円

災害発生時に派遣された町職員や避難されてきた地域住民の方々が、避難所を開設・運営するための一定の手順を定めた「避難所運営マニュアル」を作成します。

■ J R 留萌本線応援事業【拡充】

5,303 千円

J R 留萌本線の利用促進を図るための事業に対して支援を行い、J R 留萌本線の活性化及び沼田町の観光 P R、更には公共交通機関としての町民意識の向上を図ります。

《事業概要》

- ・ 町内外向けイベントの開催
- ・ クラフトビール製造ラボ整備関連経費
- ・ 駅カフェ試験営業関連経費（材料費等）
- ・ 駅舎環境整備（修繕・備品購入等）

